

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		KID ACADEMY+ 山科校				公表日	令和8年 2月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	人数配分等適切だと感じる	不具合が生じた場合は、迅速且つ柔軟に対応をおこなう	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	人数配分等適切だと感じる	不具合が生じた場合は、迅速且つ柔軟に対応をおこなう	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	物が少なく適切に管理できている	不具合が生じた場合は、迅速且つ柔軟に対応をおこなう	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	物が少なく適切に管理できている	不具合が生じた場合は、迅速且つ柔軟に対応をおこなう	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	基本的に個別対応がメイン	お子様の特性に合わせて、時間配分・カリキュラム配置を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	朝礼・ミーティング等で都度状況を共有している	継続して実施する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	定期開催を行っている	継続して実施する	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼・ミーティング等で情報交換を図っている	継続して実施する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎月全社員対象のカリキュラム研修を実施	法人内研修に留まらず、指定権者が実施する積極的に参加の促進を行う	
適切な支援の提...	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	保護者にも説明・掲示がされている	継続して実施する	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	保護者連携に加え、関係機関連携も強化している	お子さまに合わせた連携方法や面談手法を取り入れながら柔軟に対応をおこなう	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	定期MTや普段のコミュニケーションから共通認識・理解を高めている	継続して実施する	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	定期MTや普段のコミュニケーションから共通認識・理解を高めている	継続して実施する	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	保護者連携に加え、関係機関連携も強化している	継続して実施する	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	移行支援を中心に、放課後等デイサービス・小学校とも可能な限り連携を図っている	小学校との連携は更に強化しながら運営を図る	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	定期MTや普段のコミュニケーション組織全体で立案を図っている	継続して実施する	

供 与	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	定期MTや普段のコミュニケーション組織全体で変化対応を推進している	継続して実施する
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	朝礼・ミーティング等で情報交換を図りながら適切な支援をおこなっている	継続して実施する
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼・ミーティング等で情報交換を図りながら適切な支援をおこなっている	継続して実施する
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	通常ミーティングにかかわらず、職員全体ミーティングでも支援のアップデートを推進している	法人内研修に留まらず、指定権者が実施する積極的に参加の促進を行いスキルアップを図る
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎回の支援後・記録は保護者にLINEで送付し必ず確認をして頂いている	継続して実施する
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的な保護者面談・職員ミーティングを図り、適切な見直しを図る	継続して実施する
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	管理者・代表が軸となり、可能な範囲で出席をおこなう	継続して実施する
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者からの要請・許可があった場合は連携をおこない、適切な支援に繋げている	特に医療機関との連携は、今後更に強化を図りながら適正な支援をおこなう
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	特に児童が通う関係機関連携を強化し、進歩共有を図りながら支援に繋げている	継続して実施する
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	保護者との進路相談等を早めにおこなうことでの素早い情報交換をおこなっている	継続して実施する
	(28~30は、センターのみ回答)	7		センターのみ	
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7	0		
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7		センターのみ	
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7		センターのみ	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	(31は、事業所のみ回答)	7		京都市児童福祉センターを中心に可能な範囲で連携を図っている	継続して実施する
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	0		
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	定期的に地域の関連機関と連携を図ることで、交流が行える基盤を構築している	継続して実施する
	33 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	定期的な保護者面談・職員ミーティングを図り、適切な情報交換を図っている	継続して実施する
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	定期的に周辺地域と連携した集団イベントを開催し、連携体制を構築している	継続して実施する

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	直接の説明に加え、不明点は都度問合せできるようデジタルツールを活用している	継続して実施する
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	直接の説明に加え、不明点は都度問合せできるようデジタルツールを活用している	継続して実施する
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	直接の説明に加え、不明点は都度問合せできるようデジタルツールを活用している	継続して実施する
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	直接の説明に加え、不明点は都度問合せできるようデジタルツールを活用している	継続して実施する
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	定期的な保護者懇談会を開催し、様々な情報交換を実施し情報のアップデートに加え、保護者同士の懇親を深めている	継続して実施する
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	定期面談の他、相談事があれば都度対応できる運営をおこなっている	継続して実施する
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の活動通信を行い、行事等の参加希望はデジタルツールを活用し応募しやすい環境整備を都度図っている	継続して実施する
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	書類は鍵付き金庫に保管することを徹底しており、管理者のみ取り扱いができる体制構築をおこなっている	継続して実施する
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	通園されている園とも連携を図りながら、最も伝達しやすい方法を都度模索しながら推進している	継続して実施する
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	定期的に周辺地域と連携した集団イベントを開催し、連携体制を構築している	継続して実施する
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的なマニュアル更新・周知を行えるような、役割分担を実施している	継続して実施する
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	策定したBCPを更新することに加え、定期的な訓練を実施している	継続して実施する
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	利用に向けた、保護者へのアセスメントに加え、面談時に変化があれば都度相談してもらえる関係構築を行っている	継続して実施する
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	利用に向けた、保護者へのアセスメントに加え、面談時に変化があれば都度相談してもらえる関係構築を行っている	継続して実施する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画の見直し、研修・訓練を行うことで適切な組織運営を図っている	継続して実施する
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画の見直し、研修・訓練を行うことで適切な組織運営を図っている	継続して実施する
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	定期ミーティングで事象を共有し、安全な体制構築を都度行えるよう運営を図る	継続して実施する
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	法人内研修に限らず、外部機関が行う研修参加も実施している	継続して実施する
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	本部と連携した、定期研修・ミーティングを行い、職員の知見習得を行っている	継続して実施する